

令和4年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	芸術科				
教科	音楽Ⅲ	単位数	2単位	学年・コース・組	3年4・6・7組 音楽Ⅲ選択者
使用教科書	改訂版 高校生の音楽3 (音楽之友社)				
副教材等	改定新版高校生のソルフェージュ(音楽之友社), ピアノフリーステップ(音楽之友社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。ソルフェージュの学習を通して歌唱・器楽・創作などの音楽活動の理解を深める。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	青春と音楽	発声の確認	10月	器楽 ピアノ	エチュードの合格状況を評価する
	校歌	暗譜・発声の確認		鑑賞 室内楽曲 アンサンブル ボディーパーカッション	
5月	ソルフェージュ	単元テスト	11月	鑑賞 協奏曲	単元テスト
	唱歌、多声音楽、舞曲			ソルフェージュ	
6月	歌唱	エチュードの合格状況を評価する	12月	移調、転調、関係調	実技考查 ピアノ
	歌い継ぎたい愛唱歌			鑑賞 交響曲、管弦楽曲	
7月	器楽 ピアノ	実技考查(歌唱)	1月	2月	2学期末期考查
	鑑賞 声楽曲				
8月	歌唱	1学期末考查	2月	3月	
	合唱				
9月	器楽 ピアノ	エチュードの合格状況を評価する	3月		
	鑑賞 独唱曲				

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

芸術科音楽の評価は次の4点から行われる。

(1)音楽への関心・意欲・態度 (2)音楽表現の創意工夫 (3)音楽表現の技能 (4)鑑賞の能力
 評価に当たっては、表現の領域の学習では、(1)と(2)と(3)、鑑賞領域の学習では(1)と(4)、表現と鑑賞の連携を図った学習では(1)～(4)のすべての観点から、評価基準を設定する。評価基準は、題材の目標に照らして、教材や学習内容の特質を考慮しながら設定する。その際、知覚・感受に関連して、特に重点を置く音楽を形作っている要素をいくつか選択して、(2)と(4)の観点に示すようにする。

評価方法は、生徒の観察、演奏の聴取、ワークシートなど、評価する知識や技能に最も適したものを選択する。定期考查は各学期末に3回の筆記試験を実施。実技考查は6月、9月、12月の3回実施。各学期の成績は学科・実技の総合的な評価となる。また、1年間の評定は、年間を通じて上記の内容を総合的に判断して決める。